

【河原_西郷】地域の未来づくり懇談会 開催概要

1 日 時 令和6年11月1日(金) 18時30分～19時45分

2 場 所 西郷地区公民館

3 出席者 地区20名

市 10名【市民生活部長（協働推進課）、農林水産部長（林務水産課）

河原町総合支所長（産業建設課・地域振興課）】

4 テーマ 三滝の復興と活用について

5 概 要

【地元あいさつ】

本日はお忙しい中、西郷地区にお越しいただき、また多数ご参加いただきお礼を申し上げます。本日のテーマとしている三滝について、昨年8月に豪雨災害、大雨特別警報が出され、西郷地区でも公民館に避難所を開設した。人的被害はなかったものの、三滝溪など奥部を中心に雨による土砂災害が多数発生。地域で何とかしようと三滝まもり隊が動いているところだが、市の支援をいただかなければ難しい状況である。地域もできる限りのことはしていかなければと考えているので、我々の思いを聞いていただき、この会が地域の未来・文化に繋がる懇談会になればと思う。

【市民生活部長】

地域の未来づくり懇談会は、コロナウイルス感染症の拡大の影響で三年間休止していた。この間、アンケートの実施や自治連との意見交換会により多くのご意見をいただいた。これを受け、懇談会はテーマを絞り、より深く未来に向けて前向きに意見交換できるような内容に変更し、昨年度より再開したところ。

今日は、三滝の復興と活用ということ、しっかりと皆さんのご意見を聞かせていただいて前向きに議論を深めていきたいと思う。

【農林水産部長】

昨年8月15日、佐治の観測所で500ミリを超えるような大変大きな雨が降り、鳥取市南部地区において甚大な被害が出た。昨年から国の補助事業等を活用しながら災害復旧に取り組んでいるが、限られた人員でやっており十分速やかにできていないところもある。この場を借りてお詫びを申し上げます。

今回の議題テーマの一つである「三滝の復興」、その中に三滝の林間施設がある。そちらに続くアクセス道路である県道、林道についても、昨年の災害で大きく被災している。県道については概ね復旧の目途がたち、その奥にある林道についてもこれから復旧の方に入っていきたいと考えている。三滝の林間施設は河原町時代につくられたもの。長い間皆様に親しまれ、年間多くの方が利用されるような施設で賑わっていたが、平成28年中部地震のときに遊歩道が大きく崩れたり、大雨の度に落石、昨年大雨で施設に向かう林道や路肩、法面が崩れて土砂で埋まっているというような状況になっている。今日スタートというわけではないが、これからしっかりと腰を据えて施設をどうしていくのか、三滝の活性化にどう活用していただくのか話し合いをさせていただきたいと思っている。

【河原町総合支所長】

西郷地区の皆さんには日頃より河原総合支所の業務の推進に多大なるご理解とご協力をいただいております。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

今日は、皆さんから色々な意見を出していただき有意義な時間を過ごされたいと思っている。

テーマ 「三滝の復興と活用について」

【地元(説明)】

《テーマの背景と理由》

我々地区の住民は三滝溪、千丈滝を昔から景勝地として大切に守って、足を運んでそれを眺めて楽しんでいたという状況にある。その中の一つの例になるが、昔は門滝まで川沿いに歩いて上がり、鎖を使って上に上がって千丈滝だけを眺める。千丈滝を眺めてまた上の方に上がるというような形でこの地区を楽しんでいた。中学生ぐらいになると自由に安全に上られるぐらいの道が確保されていた。

三滝林間施設は昭和60年河原町時代に開設され、多くの地区内外の方に楽しんでいただいていた。昭和60年から平成12年ぐらいが一番ピークだった。入山者を含めると年間約8,300名の方が林間施設を訪れ、平成8年に最大になるが約13,000人以上の方が訪れてこの地区を楽しんでいただいたという状況にある。

災害等は何度もあった。平成28年10月鳥取県中部地震で落石等があり遊歩道が完全な損壊ではないが損壊した。それから木製の階段も一部被災したという状況で、この時点で遊歩道の全面通行止めとなった。平成30年3月で指定管理が解除され4月に三滝まもり隊が発足し、維持管理を市の部から業務委託を受け、現在まで維持管理が継続されているという状況である。令和2年9月豪雨があり、三滝林道、林道三滝線が一部崩壊、施設の一部が被災した。林道は一時全面通行止めになったが、市の方のご努力により現状を回復して立派な道になった。令和5年8月15日の台風7号の影響で、権現から杣小屋までの県道、三滝道路が被災し、特に赤井谷川の土石流が非常に激しく道路等も崩壊して県道が使えないという状況になった。林道三滝線も土砂崩れ等で通行できないという状況で全面通行止めになり、現在も復旧工事をしていただいているという状況にある。

《地域の取り組み》

平成23年から現在まで、毎年7月に北村部落が主体で高山周辺整備とその中で高山三滝の周辺整備を約70名の地域の方々に参加いただき実施している。平成29年にいなば西郷むらづくり協議会の中に三滝部を創設。11月29日に三滝林間施設の活用についてということでワークショップを実施し、地域住民の方や鳥取市職員の方も来ていただき、約50名参加していろんな意見を交わし、三滝の林間施設を活用していこうという方向が決まった。それを受け翌年の平成30年3月に地域住民により三滝まもり隊を発足させた。4月以降市の委託を受け維持管理を今まで継続しているという状況。令和5年8月の台風7号までも三滝まもり隊は各種イベントを三滝林間施設を主体として実施している。4月に三滝開きの神事、雪囲い等の設置・開放については市の委託を受けて実施している。その他春祭り夏祭り秋祭りを計画して、それぞれ地域の方、地域外の方も含めて、多数の方に来ていただき楽しんでいただいている。現在、管理棟清掃作業というのを実施しており、現在はだいぶ撤去されている土砂ではあるが、土砂崩れの中を歩いて下から三滝林間施設まで行き清掃作業等を実施している。

《課題》

- ・三滝溪の唯一の経路である林道三滝線が現在も利用できない状況にある。
- ・地域住民の多くは門滝を含め千丈滝等、三滝溪や三滝林間施設の利用再開を強く望んでいる。

① 林道三滝線の復旧計画についてどのように進めていただいているかを確認したい。

② 三滝林間施設の復旧、今後の活用計画について市の意見を伺いたい。

管理棟、休養施設、しゃくなげ館、トイレも含め、バンガロー、バーベキューハウス等の施設をどのように今後利用していくのか。

③ 遊歩道の復旧計画又は千丈滝までの経路設定について市の意見を伺いたい。

復旧ができないと美しい千丈滝まで上がれなくなってしまうので、別の経路の設定、又は現在の遊歩道から一部別のルートに変えて千丈滝まで行くというようなルートの開設。

【林務水産課（資料1説明）】

（1）林道三滝線の復旧計画について

林道三滝線は、林道若桜江府線まで10箇所の被災箇所がある。この10箇所というのは、補助災害という大きな国の補助をいただいて工事ができる場所のこと。三滝の林間施設までには被災箇所が4箇所ありその4箇所について説明する。

現状として、令和5年8月第7号台風による被災調査の写真を横の方に1号箇所2号箇所3号箇所4号箇所という形でつけている。1号箇所は、法面が崩壊し土砂が道路に堆積している。2号箇所は、路肩の崩壊。3号箇所は、舗装がめくれ上がってなかなか車が通るのが厳しい状態になっている。4号箇所についても同じように法面が崩壊し道路に土砂が堆積している状況。また、4号箇所については、今週から倒木等の撤去作業を行って確認しているところだが、路肩の方もどうも崩れているのではないかと見受けられるため再度確認を行っていきたいと思っている。

現在の作業状況としては、1号から4号箇所まで測量設計業務を実施している。測量結果を基に1期工事として、株式会社タカミズが現在施工している。

今現在、1号箇所の土砂を撤去しているので車が通れる状態。3号箇所についても、舗装はめくって工事車両等通行ができるようにしている。4号箇所については、昨日から土砂撤去に着手している。予定だが11月20日ぐらいまでには4号箇所の土砂を撤去完了し、順次2号、3号箇所の舗装復旧を行って、12月中旬頃、目安として雪が降るまでには何とかそこまでは完成したいと思っている。今回の工事で車両の通行は可能であるが、1号と4号箇所においては、法面山側が崩れており、完全に工事が終わっていないということもある。そのため、落石や崩落等の危険があり安全確保ができないため、しばらくは通行止めとさせていただく。

続いて2期工事として、今説明した1号と4号箇所の法面復旧工事を今のところは雪とかの関係もあるが、雪解け後すぐにでも着手できるように工事発注を予定している。今の復旧工事と設計業務を並行して行っており、どのように直していくかという方法はまだ確定していないが、概ね令和7年、来年度10月頃までには復旧し、通行できるようにと考えているが天候の状況やまた再度現場の状況が変わるなどによって延伸することもあると思う。三滝山荘から上の部分、5、6、7号箇所あるが、こちらは7年度に測量設計を行い、その後令和8年着手。続いて7、8、9、10についても、次の年の8年、9年度の工事ということにしているが、若桜江府線の方から回って工事するか、その辺りまた調整をしていきたいと考えている。

【地元】

4号箇所が11月に完成するということで、できたら電柱の電気も大至急中電に申し込んでもらうことができるのか。まず道路ができないと電柱の電気の復旧はできない。電気が来れば電話もできるようになる。

【林務水産課】

4号箇所で電柱が倒れており電気が来ない状態となっている。この復旧工事1期工事について、各全ての電線は工事の支障となるため切断している。電気がいつ頃になるかというやはり4号箇所の法面工事が終わるまでは支障をきたすので、それまでは復旧できないと考えている。先ほど、来年度の10月頃と説明をさせていただいたが、工程の順番でいけば4号を先に着手していくと思うので、そこが完了したら速やかに中電なりと調整しながら電気が回復するように段取りを予定している。

【地元】

今1、2、3までは車が上げれる。結局4号の前までは車でとりあえず行けると、いうことになる。私達は今までこの1年前から往復1時間ずっと歩いて上まで上がっていた。掃除して帰ってくるわけだが、今回まだ11月分の掃除が残っている。11月の終わりの方になると雪がそろそろちらほらとなるので、11月の真ん中ぐらいまではみんなで大掃除。最初は4名か3名で行くが、そこまでは車で行っていいか。安全確保のためとさっき言われた。その通りだと思う。でもできれば行きたい。

【林務水産課】

維持管理等でお世話になっており、歩いて行かれていますということも聞いている。安全確保のために本来は行ってほしくないのが現実。今の段階でいくと毎日具合を見ながら、例えば雨が降った次の日は行かないとか、そういう風なところでしていただければ通れるのではないかなと思うが、安全確保していないのに行かせるのかと言われると、関係者の方、どうしても必要な方が行くという風な判断をしていきたいと思う。11月20日頃にはもしかしたら4号箇所も土砂を撤去でき、奥まで行けるような形になっていると思うが、天候の具合が今も悪い。今日も業者と打合せをしたが、それを見ながらというような話をしている。

【地元】

安全を見ながら行く。もちろん雨の日は行かない。天気の日には必ず管理棟回り全部の窓を開けて通風という仕事があるので、天気の日にはしか上がらない。気をつけて上がるので、上から落ちてきたらわからないが気をつけて上がりたいたいと思う。

溝掃除の方は全然考えていないか。道路の方の溝が埋まっているから土砂、水が流れる。管理棟の下の方夫婦岩の下まではしているがそこから先は申し訳ないけどできないので、溝掃除もできれば一緒にやっていただけたら。

【林務水産課】

私共も歩いてみて確かに側溝とかに土砂が溜まっている。今回の復旧工事の復旧範囲については、溝掃除も水路掃除も行いたいと思うが、全体になると多分2キロぐらいある。業者とも相談して機械でできるところはやりやすいが人力でやらないといけなくところもあるので、年次的にある程度区切って今年はここまで撤去していくというような方法をとって掃除をしていくようには考えている。

【林務水産課】

（2）三滝林間施設の復旧・活用計画について

今まで3回あり方検討委員会等（あり方検討委員会2回、意見交換会1回）を開催しておりその中で検討している。基本的な方針として、鳥取市公共施設の更新については、建築物の種類によって市の方針が定められている。三滝林間施設は宿泊施設で分類されており、宿泊施設は基本的に行政としての更新を行わないとしており、更新を行う場合は民間による更新活用を検討するようになっている。この施設については、需要利用状況等を踏まえ、規模縮小を検討するなどの方針となっている。大規模な改修は困難なため、管理棟の整備を中心に行うなど、検討会の中で活用方法を考えていっているところである。本当は令和5年に第3回目の検討会を開催する予定としていたが災害により延期をしている。令和6年度中には一度開催をして、もう一度今の状態を踏まえた中で話をまとめていきたいと考えている。

【地元】

吊り橋の塗装を20年ぐらいにやったが、点検とかを河原町時代には5年に1回とか10年に1回はやっていたが今の状況を教えてもらいたい。

これからもずっと遊歩道が通れないとなると吊り橋が老朽化して撤去にお金がかかるとなると、何にお金を使うかわからないようになってしまう。大きな工事は必要ないと思うが、これがなかなか難しいかなというのが少し疑念。三滝自体、スペースが狭いため県外や街中から来られても、あそこのスペースだけでは時間がつかえるというか、遊休施設としてもなるべく遊歩道等の復旧をとにかく早くお願いしたいと思う。

【林務水産課】

橋の点検について、平成28年に一度点検している。そのときの状況としては、破損は見られないが、サビがだいぶある。その補修を行うにしてもなかなかその現場状況が厳しいということではない中、こういう災害が起きたり、途中の階段がなくなったりというようなことが起きて、その点検後はまだ調査をしていない。

先ほど遊歩道の復旧計画はどうだということと一緒にになってしまうが、この吊り橋に関して考えていきたい。今現在、吊り橋に何をするにしても、修繕するにしても道がないという状況にある。その中で、まずルートは今後どうやっていきたいかということもある中で、実際現地で別のルートがとれないかという考えもある。それは正直見てみないとわからない、地元のよく知っておられる方で、「この辺りからだったら木を切り開いていけば人が通れる道ができる。」などもあるかと思うので検討していきたいと考えている。それも踏まえた後に吊り橋については、ルートが確保できた後に調査点検などをして、今後どうしていくか検討していきたいと思っている。

【地元】

遊歩道の改修の仕方に関することだが、最初の大きな沢、上に堰堤もあり上の堰堤はしっかりしていた。堰堤の横に二段堰堤をつくるとか、そこに行くまでに最初に落ちた階段の手前から回ってもらうとか。それともう1個一番落ちたところに大きなトンネル洞門をつくるとか、堰堤付きのトンネル。そういう形ですれば他は大したことはない。あそこだけの問題なら一番ひどいところから堰堤付きの洞門でいくか、上の方まで手前から上がって堰堤のところを降下するという方法がこの前上がって感じた。参考にしてもらえればいいと思う。

【農林水産部】

既設の遊歩道、歩いてみると石が実際にあったときに上から落ちてきて危なかったということもあり、そこをまずクリアする必要がある。行政が管理する上で安全性はどうしても問われるところであるため、果たして今の落石が常にあるような遊歩道をそのまま活かすのがいいのか、もしくはもっと別のルートをつくるのがいいのかというようなことで悩ましいところである。近々コンサルタントを頼んで山歩きをしてもらい、机上で図面を見る限り等高線が一往になっている山のようなので、一定の高さから入っていけばアップダウン無く橋のところまでいけるのかなというのはある。ただ、そこにたどり着くまでの取り付く場所はどこがいいのかとか、岩場だったら何か対策が必要になってくる。そういったのも見てみる必要があると思う。今使われていないが、例えば沢から直接上って行って橋まではなかなか辿り着かないとは思いますが、千丈滝を見るルートというのも考えられるのかなと思うので、これからじっくりとまた皆さんとご相談をさせていただきながら検討したいと思っている。

【地元】

例えば、三徳山のように自分の責任で上がるというのは無理か。掃除に行っていると登山用に武装して何組かご存知の方が上がって来られる。危ないから気をつけてという声はかけるが、そういうことはいけないのか。

【農林水産部】

自己責任で山に登られる方はたくさんあるし、実際にやっておられる方、それは問題ないと思うが、役所が管理をしている遊歩道で事故は大変困るので、今は通行止めという状態にしている。これを極端だが、もう役所が管理しないと言え、そこを自由に通るのは構わないと思うし、あくまで自己責任で事故が起こらないように気をつけていただきたいというところになるかと思う。

【地元】

今管理棟の関係で縮小という話をされたが、トイレとかの関係は自前でやれということか。変な話だが、私達はお金がないところなので、自前でやれと言われてもお金の稼ぎ方がつかないし、基本的に縮小だというのはどの辺までの縮小ということなのか、それについてどうするか。これから先、毎月整備に上がってみても先が見えない状態というのは、ものすごく寂しい感じがするし、やはり行政としてはせめて環境整備はここまでやるんだよということを示していただきたいというのが本音。これから先雪が降ればまた雨漏りも出てくるし、その辺も含めて市としての考え方、こういうものについてはどうするとか、考え方を示してほしい。地元にお金を払えというのは大変苦しい話であるので、その辺も検討していただければありがたい。

【林務水産課】

説明が不足して申し訳ない。規模縮小というのは、管理棟やバンガロー等いろいろ施設があるがなかなかバンガローとかそこまでを直していくのは難しい中で、管理棟のところで修理をしていきたい。先ほどのトイレの改修について、洋式に変えてほしいという意見もあるがその方法は検討していきたいと思う。スペースやレイアウトも含めて考えていかなければいけない。今するとかにはならないが、軽微な修繕、例えば先ほどの雨漏りがというようなことであれば、適宜行うということで考えているのでご理解いただきたい。

【地元】

いろいろな施設や建物がある中で、その全部の建物をどうにかするという意味ではなく、管理棟等のメインの今三滝まもり隊が面倒みている施設については市として対応できる限り行くと、ただ全部の施設を同じようにということはなかなか難しいというお話ですか。

【林務水産課】

その通り。

【地元】

去年から災害で通れないというところを女性部は歩いて上がるわけだが、いつになったら通れるのかというようなことで、今日を機会に聞いてみようここにまもり隊と区長さん方が揃っているが、実際上がっているのがまもり隊。人が来ないから結構鹿、猪が管理棟周辺をむちゃくちゃにしている。これが通れるようになって、頻繁に人が上がって来られると、あそこまで散々な状態にならないなと感じた。今までも荒らすのは荒らしていたがしれていた。ここ近年、猪は堀に掘って石を深く掘ったり、そういう格好で1日でも早く復旧してもらいたいというのが課題。

【地元】

西郷は、焼き物、温泉、三滝がありずっとルートのには繋がっている。私個人的には、県外やどこから来られても、ここで1日が過ごせるぐらいの施設は西郷地区にある。これを何とか結びつけて交流人口ができないか個人的にはずっと思いがあるがなかなかこれが難しいことで、県外から来ればもちろん市内も来るし、また奥が栄えれば、当然土地も寂びることはないと思うので、なるべく奥の人ほど大事にしたら、西郷地区、河原町、鳥取市が栄えるのかなという中で三滝もよろしくお願いしたい。

【農林水産部】

まさにそうだと思う。先週工芸祭りをされていたということで、河原の中井窯とかも全国的に有名だったりして大変多くの方が来たいなと思っておられると思う。ただ、実際来てどこに行ったらいいか、見たらいいか、なかなか他所の方はわからないし、そういったイベントでもあればどんどん来られる方も増えるのかなと思う。また温泉もあるので、秋の時期になれば、三滝に上がって紅葉を見て、そういったことで以前のように1万人を超すような方が来ていただけるような仕掛け仕組みができたらと思う。そのために地元の皆さんが連携して、各施設を繋ぐような仕組み作りというのも必要で、それに鳥取市も支援をしていく必要があると思っている。

【地元】

以前から光ケーブルが走っている。ほとんどの方はドコモを使っている人が多いと思うが、ドコモがなかなか繋がりにくく、鳥取県東部の公民館に無料Wi-Fiがあるように、あそこにも無料Wi-Fiをつけてもらえたら。結構皆さん電話ではなくLINEなので無料Wi-Fiをつけてもらえたらありがたい。

【市民生活部】

Wi-Fiについては、現在、多くの公民館で利用できるようにしている、この施設で利用できるかどうか検討させていただき、追って回答したいと思う。施設Wi-Fiは非常に好評で、公民館でもかなり有効に使っておられる、前向きに検討させていただきたい。

【地元】

やはり三滝は千丈滝があつての三滝と思う。切り離しては考えられない。西郷でも宿泊施設、それも安くて長く泊まれるところが無いと思う。私達が考えているのは、管理棟と保養棟、保養棟の下は湿気がなければすごく良いところ、京都に負けないぐらいの眺め。そこを使うと思ったらやはり水、電気が必要。管理棟の上二階に泊まる広いところがある。そこも上手くいけば、この中でも県外から来ている方はたくさんおり、学生の誘致も泊まれるようになったらできると思う。

私達は大きな夢を持っていて、要するに河原中がずっと道の駅からはじまり温泉があつて、ずっと繋がったらいいな、どん詰まりのところに安くて長く泊まれる宿があつたらいいな、そしたらもっともって発展するんじゃないか、若い人も来てくれるんじゃないかと思っているので、ぜひ市としてもそこをちゃんと使えるように、さっき言われた縮小ということも考えていかなければならないかもしれないが、管理棟と保養棟は絶対に残してほしい。バンガローもすごく良い木を使っている。あそこもあれば良いなど、サウナができるかなとかいろいろな夢を持っているので、ぜひ鳥取市としても、もう少しテコ入れしてほしい。お金という意味ではなく、やはりお金も必要か。お金プラス人材というかそういう案をしてくれる人とかをいっぱい欲しいと思うので、ぜひよろしくお願いしたい。

【農林水産部】

三滝の林間施設は、本来指定管理で行う予定の施設だったが、度重なる災害でともに指定管理に手を挙げられる業者、民間の方もいらっしゃらないということで今のような状況、まもり隊さんをお願いして管理をしていただいている状況になっている。本来の姿に戻すためにこの林道の災害復旧であるとか、施設の傷んだところの修繕であるとか、こちらの方しっかりとさせていただいて改めてこの指定管理制度を活用し、民間の「よしここで宿泊施設やったるわ。」みたいな方に手を上げてもらってやるとか、もしくはそれこそまもり隊の皆さんでやって「いっちょ儲けたるわ。」みたいな感じの勢いでやっていただければ、おっしゃったようなことも可能なのかなと思う。

【市民生活部】

本日は多くのご意見を頂戴したお礼申し上げます。また、紹介いただいたまもり隊の様々な活動に改めて感謝申し上げます。さて、ご存知の通り昨年8月15日の台風7号は鳥取市始まって以来の甚大な被害となった。令和5年度、6年度、そして7年度にわたり100億円規模の予算を計上し、復旧までかなりの期間が必要となる。そのためスケジュールが定まっておらず皆様にご迷惑かける、どうかよろしく願いしたい。

また、施設の在り方についていろんなご要望をいただいた、担当課長が述べた通り、本市は厳しい財政状況を踏まえ、できる限り施設にかかる費用負担を減らしていきたいと考えており、ファシリティマネジメントに全庁的に取り組んでいる。この施設については「将来的に縮小」と基本的な方針が示されているが、縮小だから全て駄目ということではない。今日いただいたご意見を観光面では経済観光部、文化振興では企画推進部、そして中山間地域や公民館、まちづくり協議会のことについては市民生活部が、しっかりと受け止め、全庁的に連携しながら、どういった方向に進むべきなのかを、今一度、皆さんと一緒に議論していきたいと思う。本日はありがとうございました。